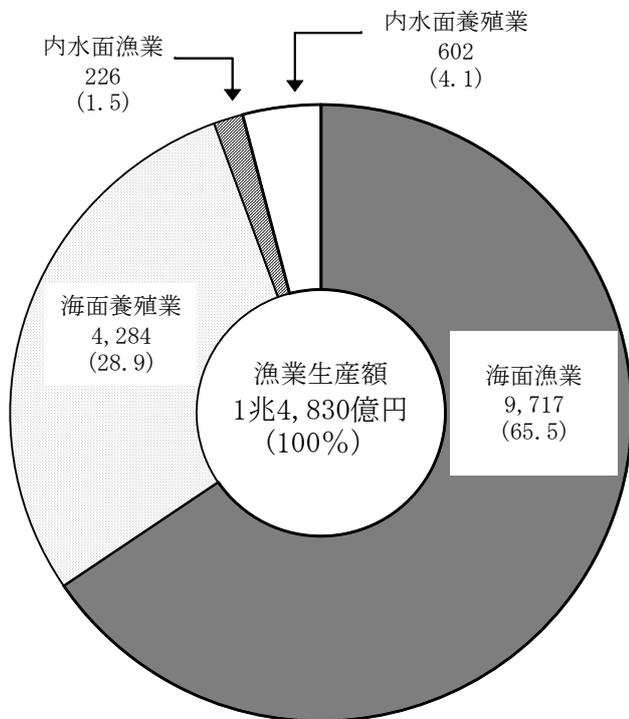


漁業・養殖業生産額

平成 22 年の漁業生産額は 1 兆 4,830 億円で、前年に比べ 0.9 % 増加した。

図 1 漁業生産額の構成比



(1) 海面漁業

海面漁業の生産額は 9,717 億円で、前年並みであった。

魚類の生産額は 6,894 億円で、前年に比べ 0.6 % 減少した。

ア 生産額が減少した主な魚種

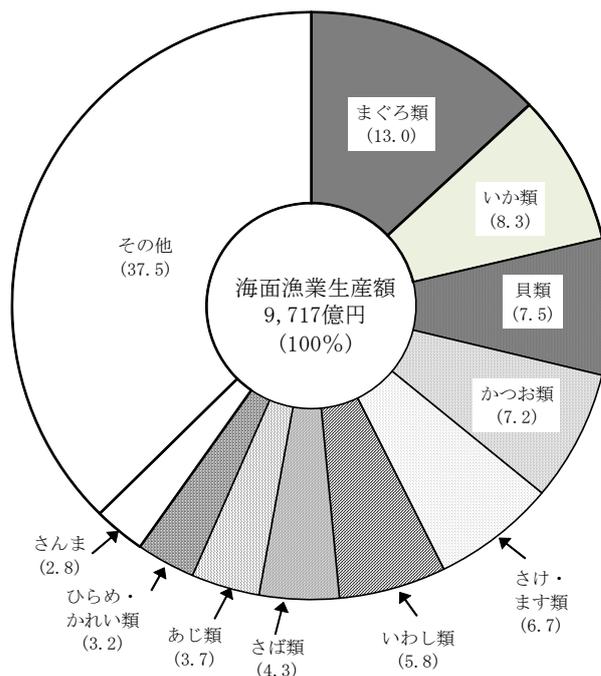
(ア) さけ類

生産額は 607 億円で、価格が上昇したものの、漁獲量は減少したことから前年に比べ 11.5 % 減少した。

(イ) くろまぐろ

生産額は 150 億円で、価格が上昇したものの、漁獲量は減少したことから前年に比べ 37.9 % 減少した。

図 2 海面漁業生産額の魚種別構成比



(ウ) たこ類

生産額は190億円で、漁獲量が減少したことに加え、価格も低下したことから前年に比べ11.7%減少した。

イ 生産額が増加した主な魚種

(ア) さんま

生産額は275億円で、漁獲量が減少したものの、価格は上昇したことから前年に比べ25.3%増加した。

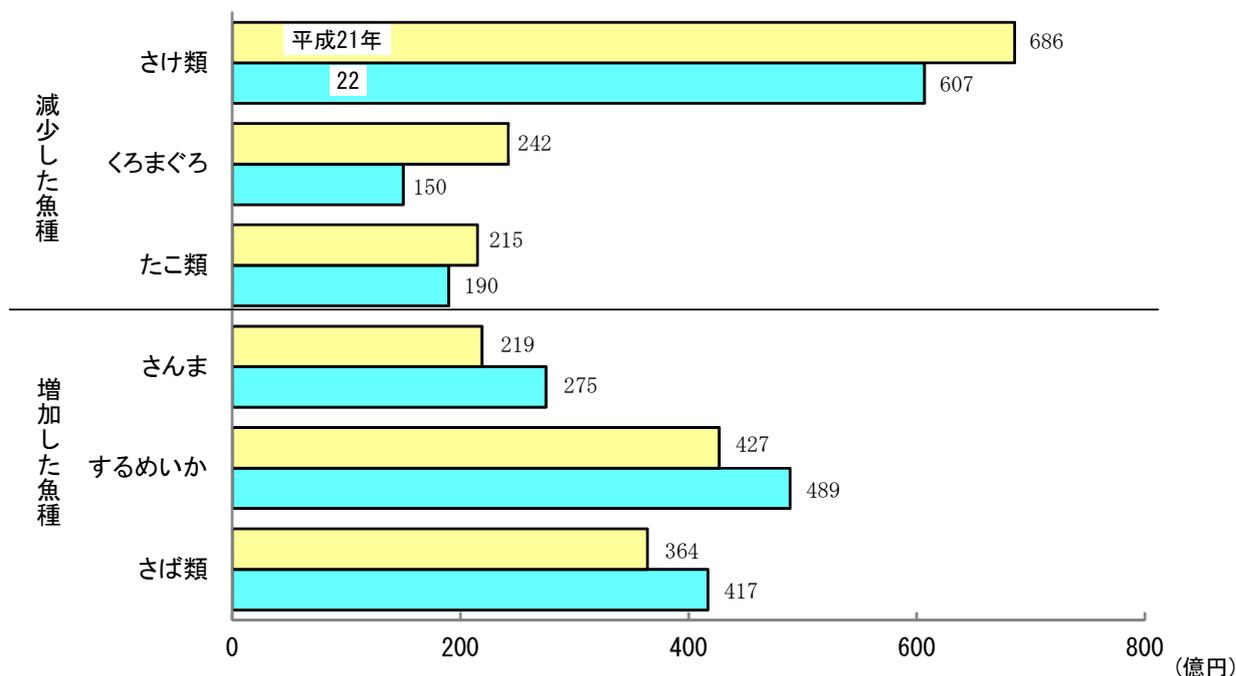
(イ) するめいか

生産額は489億円で、漁獲量が減少したものの、価格は上昇したことから前年に比べ14.7%増加した。

(ウ) さば類

生産額は417億円で、漁獲量が増加したことに加え、価格も上昇したことから前年に比べ14.6%増加した。

図3 海面漁業の主要魚種別生産額



(2) 海面養殖業

海面養殖業の生産額は 4,284 億円で、前年に比べ 4.6%増加した。

魚類養殖の生産額は 2,187 億円で、前年に比べ 6.3%増加した。

ア 生産額が増加した主な魚種

(ア) まだい

生産額は 506 億円で、収穫量が減少したものの、価格は上昇したことから前年に比べ 10.2%増加した。

(イ) かき類

生産額は 336 億円で、収穫量が減少したものの、価格は上昇したことから前年に比べ 14.2%増加した。

イ 生産額が減少した主な魚種

(ア) くるまえび

生産額は 74 億円で、収穫量が減少したことに加え、価格も低下したことから前年に比べ 11.0%減少した。

(イ) わかめ類

生産額は 83 億円で、収穫量が減少したことに加え、価格も低下したことから前年に比べ 23.4%減少した。

図 4 海面養殖業生産額の魚種別構成比

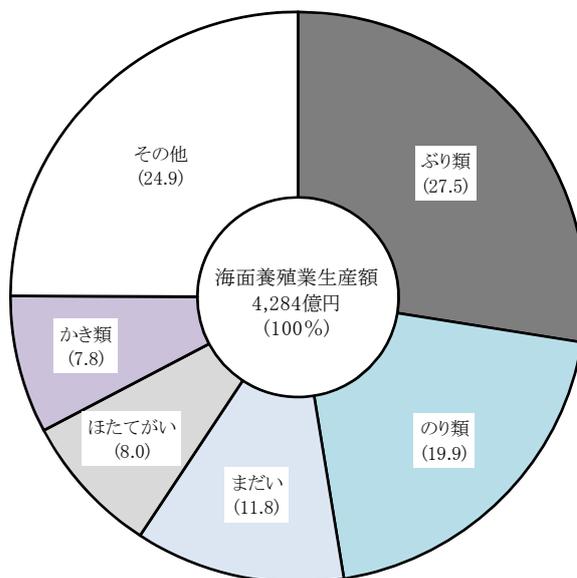
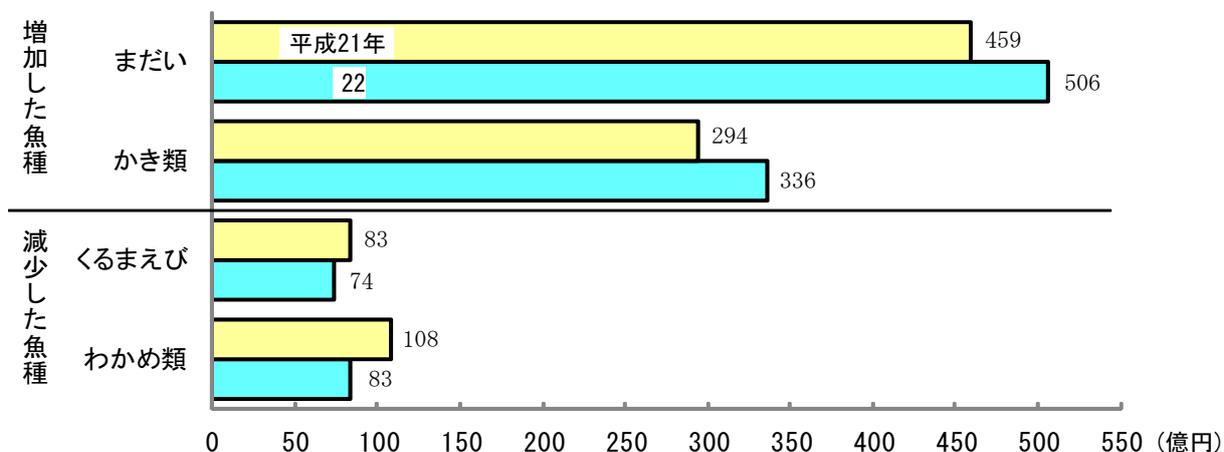


図 5 海面養殖業の主要魚種別生産額



(3) 内水面漁業・養殖業

内水面漁業・養殖業の生産額は829億円となり、前年に比べ6.4%減少した。

ア 内水面漁業の生産額は226億円で、前年に比べ13.7%減少した。

これは、あゆの生産額が84億円で、漁獲量が減少したことに加え、価格も低下したことから前年に比べ18.3%減少したためである。

イ 内水面養殖業の生産額は602億円で、前年に比べ3.4%減少した。

これは、うなぎの生産額が383億円で、価格は上昇したものの、収穫量が減少したことから前年に比べ5.8%減少したためである。

図6 内水面漁業及び養殖業の主要魚種別生産額

